

プログラム紹介

■各講座定員は15～50名程度です。 ■プログラム・内容等は変更となる場合があります。
 ★印はグループディスカッションや模擬体験等ワークショップ型の講座です。

9月22日 土

- 9:00～9:50 受付
- 10:00～10:15 開会式
- 10:15～11:15 オープニングセッション
- 11:30～12:45 ランチ交流会
- 13:00～14:30 セッション①
- 14:45～15:45 セッション②
- 16:00～16:40 クロージングセッション①
- 初日のみの方はここまで
- 16:50～17:30 宿泊オリエンテーション
- 18:00～18:50 夕食
- 19:00～20:30 グロセミカフェ

セッション① 22日 土 13:00～14:30 (90分)

<p>講座 A ★ スマホから考える世界・わたし・SDGs</p> <p>認定NPO法人開発教育協会 (DEAR) 八木 亜紀子さん</p> <p>スマホの歴史やできるまでの工程を学びながら、その工程で発生している人権問題やSDGs(持続可能な開発目標)とわたしたちの生活、SDGsとスマホを取り巻く問題について、皆さんと一緒に考えるワークショップです。</p>	<p>講座 B ★ 貧困について考えよう</p> <p>～バングラデシュと日本～</p> <p>福島県国際理解教育研究会 竹田 朋彦さん</p> <p>私たちの社会は豊かなのでしょうか?貧困とは経済的に貧しい状態のことだけなのでしょうか?所得という観点だけではなく、グループでのワークを通して、人間らしい生活、豊かな生活を考えていきましょう。</p>	<p>講座 C ★ 多様性の中で生きる</p> <p>～11か国240人と41日間の船上生活～</p> <p>船と翼の会ふくしま/グローバル卒業生 (福島県国際交流協会主催事業「ふくしまユースグローバルカレッジ」卒業生)</p> <p>内閣府青年国際交流事業「世界青年の船」5大陸11か国から集まった青年たちとの船内の環境はまさにダイバーシティ。そこで起こった様々な事件を通して、多様性や異文化理解について一緒に考えてみませんか?</p>	<p>講座 D ★ 役に立つ?立たない?</p> <p>～母国の先住民の歴史、文化、言語教育の必要性～</p> <p>福島県国際課国際交流員 トビー・パークバックジョーンズさん</p> <p>現在のNZでは、先住民である「マオリ族」の言語教育について、小学校から義務化するのか?という課題が注目されています。NZの先住民の歴史、文化について学び、先住民の言語教育の復興について話し合みましょう。</p>	<p>講座 E ★ 東南アジアの山岳少数民族の子どもたちと私たち</p> <p>NPO法人シーエスアールスクエア 穴戸 仙助さん</p> <p>ラオス・ベトナムなどの山奥には、数百人程度の少数民族の村々がたくさんあり、子どもたちは、家族のために働きながら、恵まれない環境の中で精一杯学んでいます。このような現実に対し、私たちができることは何なのでしょう?</p>	<p>講座 F ★ 難民を知るワークショップ</p> <p>～もし、あなたが故郷を追われたら～</p> <p>認定NPO法人IVY 阿部 真理子さん</p> <p>内戦から逃れ難民になる過程、また、イラク・クルド自治区に逃げた後、難民としてどのような生活を送っているのかを体験します。元JICAシリア隊員とNGOが協働で作った臨場感のあるワークショップを通して、難民について考えてみませんか?</p>	<p>講座 G ★ 熱血講座!</p> <p>～グローバル人材を目指す方へ～</p> <p>JICA二本松青年海外協力隊訓練所 所長 洲崎 毅浩さん</p> <p>JICAボランティア、国際協力のことを詳しく知りたい!そんなあなたにお届けするJICA二本松訓練所長による熱血講座。JICAボランティアに限らず、グローバル人材を目指す方へ必見の講座です。</p>
---	---	---	---	---	--	--

セッション② 22日 土 14:45～15:45 (60分)

<p>講座 A ★ マレーシアに学ぶ障がい児支援</p> <p>～リハビリテーションの専門家としての活動～</p> <p>郡山健康科学専門学校 (元青年海外協力隊・シニア海外ボランティア) 田中 絹代さん</p> <p>作業療法士として青年海外協力隊やNGO活動を通して長年マレーシアの障がい児支援に関わってきました。障がいがある子どもたちの生活や支援の様子、私たちが学べることなどマレーシアでの活動の様子をお伝えします。</p>	<p>講座 B ★ イランは日本に片思い</p> <p>元テヘラン日本人学校教諭 (二本松市立東和小学校教諭) 内谷 昌史さん</p> <p>日本人がもつイランのイメージは?戦争、核開発…。あまり良いものではありませんよね。私が過ごしたテヘラン日本人学校での3年間を振り返りつつ、一緒にイランへのイメージをガラリと変えてはみませんか?</p>	<p>講座 C ★ 外国語学習にとって大切なこと</p> <p>～ことばの学び方と楽しみ方～</p> <p>パークレーハウス語学センター (JICA二本松青年海外協力隊訓練所 語学訓練調整員) 堀江 弘道さん</p> <p>これまで効果的に英語の勉強ができなかった方、これから英語以外の外国語を学ぼうと思っている方、言語そのものに興味のある方、この講座に参加してみませんか?ことばの学び方と楽しみ方のヒントが得られるかもしれません。</p>	<p>講座 D ★ アフリカの病院</p> <p>～私が目指した安心への第一歩～</p> <p>JICA二本松青年海外協力隊訓練所 診療室 看護師 大里 郁子さん</p> <p>「入院するならどんな病院がいい?」そう考えるだけでいろんな課題が見つかります。ウガンダ共和国での2年3ヶ月間の協力隊活動を通して、私が病院で見たウガンダのあるある事件簿をまじえながら活動を紹介いたします。</p>	<p>講座 E ★ 君は知らない中国</p> <p>～大媽現象</p> <p>つばさ・日中ハーフ支援会 小島 梓さん</p> <p>2013年に米国のウォールストリート・ジャーナルは、「dama(中国語の「大媽」)という新しい言葉を使いました。知っているようで知らない国、中国から来日して20年以上の中国人作家が、あなたの知らない裏中国を明らかにします。</p>	<p>講座 F ★ 人の往来</p> <p>～福島県からブラジルへ</p> <p>チームブラジル 石田 セシリアさん 平成30年度福島県県費留学生 宮島 ナタリア 香さん</p> <p>今から58年前、ある一家が福島県からブラジルへ移住しました。日本から遠く離れたブラジルでの移住生活、福島県に縁のある人々が設立したブラジル福島県人会の今と、ブラジルの教育現場の様子をお伝えします。</p>	<p>講座 G ★ JICAボランティア募集のあれこれ</p> <p>JICA二本松青年海外協力隊訓練所 募集広報担当 飯部 つかささん</p> <p>JICAボランティアに参加してみたい方、応募概要や派遣のシステムの説明をするとともに、2年間の協力隊期間を皆さんにお伝えしつつ、様々な質問にお答えします!</p>
---	---	--	---	---	--	---

9月23日 日

- 6:30～7:00 (参加自由) 青年海外協力隊訓練模擬体験「朝の集い」
- 7:00～8:00 朝食
- 8:30～9:20 自主セッション
- 9:35～10:45 セッション③
- 11:00～11:40 クロージングセッション②
- 11:40～11:50 閉会式

グロセミカフェ 22日 土 19:00～20:30 (90分) お茶を片手に講師とのフリートーキングを楽しめます!JICAボランティアの個別相談窓口も開設されます! (参加自由)

自主セッション 23日 日 8:30～9:20 (50分) セミナー参加者が自主的に行う講座です。発表方法など詳しくは裏のページをご覧ください。

セッション③ 23日 日 9:35～10:45 (70分)

<p>講座 A ★ 船乗りから見た世界のあれこれ</p> <p>商船三井興産(株) (JICA二本松青年海外協力隊訓練所 料理長) 加島 恵治さん</p> <p>客船、貨物船、冷凍船…船には船員の食を管理する料理人がいることを知っていますか?世界の海を渡り歩いた料理人が、航海時のハブニングや船内暮らし、海からその国に入る素晴らしさをお伝えします!</p>	<p>講座 B ★ リアル世界を旅する</p> <p>会津大学 産学イノベーションセンター 藤井 靖史さん</p> <p>国内外の会社勤めや地域での起業&Exitを経験、現在は総務省地域情報化アドバイザーも担当。情報の分解の仕方や人間の欲望、ゼロからイチが生まれる法則などに触れながら、リアルな世界を旅する実体験を感じてください。</p>	<p>講座 C ★ Let's talk about cross culture : using easy English</p> <p>JICA二本松青年海外協力隊訓練所 (語学講師) Mr. FRANCIS AMIMO OKOTI</p> <p>My name is Francis Amimo Okoti but people call me Frank. I am Kenyan and reside in Fukushima, Japan. I'm 42 years old and married. I moved to Japan 11 years ago. I teach English. I speak four languages: English, Swahili, Luhya and Japanese a little. Before moving to Japan, I lived in Nairobi city, Kenya. I met people from different countries while in Kenya.</p>	<p>講座 D ★ 旅へ My journey</p> <p>元青年海外協力隊員/グローバル卒業生 (福島県国際交流協会主催事業「ふくしまユースグローバルカレッジ」卒業生) 菅野 ひかるさん</p> <p>旅の目的は人それぞれで、100人に100通りの楽しみ方があります。バックパッカーという旅のスタイルにスポットを当て、その魅力についてお伝えします。バックパッカーひとつで、広い世界へ飛び出しましょう!</p>	<p>講座 E ★ G' day! オーストラリアの多文化社会</p> <p>いわきコスモポリタンクラブ 栗村 フェリシティーさん</p> <p>庭にカンガルーが来るって本当?? 「G' day」って何の略??クイズなどを通してオーストラリアの生活や言葉、文化に触れてみませんか!また多文化社会の魅力と課題、日本の「多文化」について、一緒に考えてみましょう。</p>	<p>講座 F ★ コーヒーが繋ぐ世界</p> <p>富久栄珈琲 中島 茂さん</p> <p>石油に次ぐ取引規模の国際商品である珈琲はアフリカ、アジア、中南米と世界各地で栽培されています。生産国の貴重な外貨獲得の資源であると同時に農村コミュニティを支えるおいしい珈琲を飲みながら、彼らの情熱を感じてください。</p>
--	---	--	--	---	--